

■米国：テラパワー社の新型原子炉開発、米中貿易摩擦により停滞

2019年1月2日付の報道によると、マイクロソフト共同創設者であるビル・ゲイツ氏が会長を務めるテラパワー社の関係者は、米国の貿易新規制により、同社が中国企業と協力して開発を進めようとしている新型原子炉（進行波炉）の合意を、放棄せざるを得なくなったと語った。同社は2017年、中国核工業集团公司（CNNC）と北京の南に試験用原子炉を建設することに合意した。しかし前週末に発表された評論の中で、ゲイツ氏はトランプ政権による中国との重要技術取引を制限する米国の新たな規制に直面して、同建設計画を遂行できる可能性は低くなったと述べていた。このため、同社は、劣化ウランを燃料として使用するこの新しい概念の原子炉の開発に向け、新たな協力者が必要となっている。